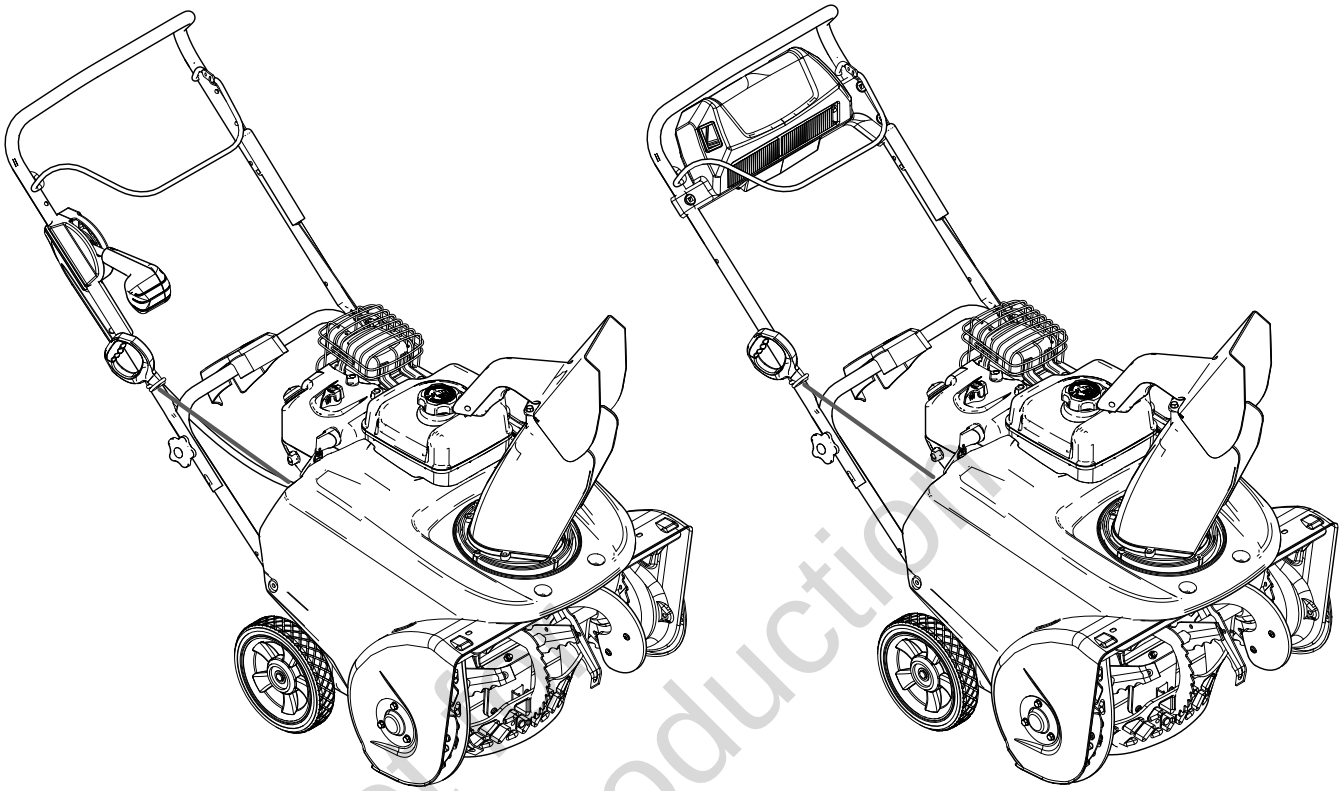
ja

操作マニュアル - デュアルステージ除雪機



Not for Reproduction

Copyright © Briggs & Stratton Power Products Group, LLC.
Milwaukee, WI, USA. All rights reserved.

80015580JA
Revision -

Not for
Reproduction

本マニュアルの対象製品

以下の製品は、本マニュアルの対象製品です：1696231-02、1696273-02、1696508-01、1696509-01、1696514-01、1696560-01。

マニュアルの内容

使用者の安全 3

安全システム試験 8

機能とコントロール 9

使用 10

維持管理 15

トラブルシューティング 19

仕様 20

*メモ:*本製品に関する他の情報は顧客連絡先ガイドおよび設定指示を参照してください。

本書に掲載されている画像は代表的なものです。所有されている装置と表示されている画像が一致しない場合があります。左および右は、運転者の位置から見たものです。

使用者の安全

安全警告シンボルおよび信号語

安全警報シンボルは、人 ⚠身傷害をもたらす可能性のある危険についての安全情報を特定するために使用されます。信号用語 (危険、警告または注意) は、傷害の可能性および潜在的な深刻さを示す警報シンボルと共に使用されます。また、危険シンボルは危険のタイプを表すために使用される場合があります。

⚠「**危険**」は、避けられなかった場合に死亡事故または深刻な怪我に繋がる危険を示します。

⚠「**警告**」は、避けられなかった場合に死亡事故または深刻な怪我に繋がる可能性のある危険を示します。

⚠「**注意**」は、避けられなかった場合に、軽い、或いは中程度の怪我の可能性のある危険を示します。

*「注目」*は製品の損傷につながる状態を示します。

危険シンボル表

除雪機危険シンボル

シンボル	意味	シンボル	意味
	人身傷害をもたらす可能性のある危険についての安全情報。		装置を運転または保守する前に、操作マニュアルを読み、理解してください。
	切断の危険 - 回転する羽根。		保守を実施する前にキーを抜くこと。
	切断の危険 - 回転する羽根。		切断の危険 - 回転する刃。
	切断の危険 - 可動部品に触れないでください。		物が飛ぶ危険。
	火災の危険。		爆発の危険。
	感電の危険。		有毒煙の危険。
	高温面の危険。		長時間使用する場合は聴力保護具を使用することを推奨。
	安全な距離を保つこと。		保護メガネを着用すること。
	子供を近づけないこと。		反発の危険。

リサイクルに関する情報

すべての梱包材、使用済みオイル、およびバッテリーは適用される政府規制に基づいてリサイクルされなければなりません。

Not for Reproduction

安全に関するメッセージ

警告

アメリカモデル：本製品の特定の構成部品とその関連アクセサリーは、カリフォルニア州において発がん、出生異常、その他の生殖的な害を及ぼす化学物質を含みます。取扱いをした後で手を洗ってください。

警告

アメリカモデル：本製品のエンジン排気はカリフォルニア州において発がん、出生異常、その他の生殖的な害を及ぼす化学物質を含みます。

危険

- 吐き出し口内の回転羽根に触れることは、除雪機に関連する怪我も最も一般的な原因です。
- この除雪機は、手足を切断し、物を飛ばす場合があります。本マニュアルに記載されたすべての安全指示を読み従うようにします。そうしない場合は死亡または人身事故に繋がる可能性があります。

警告

本ユニットを使用する前に、除雪機および操作マニュアルに記載されたすべての指示を読み、理解し、そして従うようにします。

本マニュアルに記載された安全指示に従わない場合、死亡または深刻な怪我に繋がります。

- 除雪機のコントロールおよび適切な使用について十分に理解します。
- 除雪機を使用する前に適切なトレーニングを受けるようにします。
- ユニットを停止して素早くコントロールを解除する方法を理解します。
- 適切な指示を受けていない人物が除雪機を使用しないようにします。
- 除雪機が長期間保管されていた場合、操作マニュアルに記載された指示に常に従うようにします。
- 必要に応じて、安全および指示ラベルを保守または交換します。
- 適切に訓練されていない限り、この除雪機についての主要な修理を行おうとしないでください。除雪機の不適切な整備は、危険な動作、機器の損傷および製品保証の無効化をもたらします。

危険

吐き出し口には雪を飛ばすための回転羽根があります。手を使って吐き出し口から雪を取り除いたり詰まりを取ったりしてはなりません。指が回転羽根に挟まれる可能性があります。常に清掃ツールを使用します。

これらの安全指示に従わない場合、外傷性切断または重度の裂傷に繋がります。

危険

手、足、および衣類を回転部分に近づけないようにします。回転部分は、手、髪の毛、衣類、またはアクセサリーに触れたり縺れたりする可能性があります。

これらの安全指示に従わない場合、外傷性切断または重度の裂傷に繋がります。

- 除雪機の清掃、修理、または検査を行う場合、、エンジンがオフの状態であり、スパークプラグのワイヤが外されており、そしてすべての可動部分が停止していることを確認します。
- 回転する部品の近くまたは下に手や足を置かないでください。常に、吐き出し口に近づかないでください。
- 適切な保護具および他の安全器具を使用せずに除雪機を起動してはなりません。
- エンジンを起動させたままで除雪機から離れてはなりません。羽根および牽引コントロールを解除し、エンジンを止め、そしてキーを外します。
- ゆったりとした衣類は除雪機の前面および羽根に近づけないようにします。マフラー、手袋、衣類のひも、ゆったりとした衣類、およびズボンは回転する機器に挟まれる可能性があります。長い髪は結び、宝飾品類は取り外します。
- コレクター／羽根の凍結を防ぐために、雪を取り除いた後数分間は機器を起動したままにします。
- 除雪機の輸送時または使用していない時は、コレクター／羽根の電源を切ります。

Not for Reproduction

警告

羽根により物体が持ち上げられて吐き出し口から飛び出す場合があります。近くにいる人に向けて雪をはき出したり、除雪機の前に誰かが立ったりしてはなりません。これらの安全指示に従わない場合、死亡または深刻な怪我に繋がります。

- 操作中および調節／修理中は常に保護眼鏡またはアイシールドを着用します。
- 常に雪を飛ばす方向に気をつけます。飛ばされる物体により近くの歩行者、ペット、または所有物が傷つく可能性があります。
- 除雪機の操作中は周囲に注意を払います。砂利、ドアマット、新聞紙、玩具、雪の下に隠れている石等の物体の上を通過しないでください。吐き出し口から飛び出たり羽根が詰まったりする原因となります。
- 砂利を引き詰めたドライブウェイ、歩道または道路上での使用時または横切る場合は特別な注意を払います。
- 砂利または石の表面より高くなるようにコレクターの高さを調節します。
- 吐き出し口の角度を適切に調節することなく、ガラスが入ったもの、自動車、窓カバー、ドロップオフ等の近くで除雪機をしないでください。
- 除雪機を使用するエリアについて事前に把握します。歩道とドライブウェイの境界線に印を付けます。

警告

使用者が子供の存在を見落とした場合、深刻な事故が起こる場合があります。子供は、装置や機器の動作にしばしば引き付けられてしまいます。子供を最後に見た場所に彼らがそのまま居ると思い込まないでください。

- 使用中に子供が近づかないようにします。子供は機会に興味を持つことがよくあります。周りのすべての人物に注意します。
- 子供が刈り取り場所に入った場合は、警戒して、装置をオフにします。
- 子供に装置を運転させないでください。
- 視界を遮るかも知れない、見通しの悪い曲がり角、灌木、林などの対象に近づくときは特別の注意を払います。子供がいる場合があります。

警告

エンジンは一酸化炭素という無臭・無色の有毒ガスを排気します 。一酸化炭素の吸引は、嘔吐、気絶、或いは死をもたらします。

- エンジンの始動と運転は屋外で行って下さい。
- 扉および窓が開いていてもエンジンの起動を閉鎖された場所で行わないで下さい。

警告

燃料および気化ガスには高い可燃性および爆発性があります。燃料の取り扱いには十分注意します。

これらの安全指示に従わない場合、火事や爆発を引き起こす可能性があり、深刻な火傷や死亡に繋がります。

燃料を追加する際

- エンジンを切り、燃料キャップを外す前に少なくとも2分間エンジンを冷やして下さい。
- 燃料タンクは屋外、または換気の良い場所で充填してください。
- 燃料タンクに過剰充填しないでください。ガソリンが膨張しても良いように、燃料タンクの細くなっている部分の一番下より上に充填しないでください。
- 燃料はスパーク、直火、パイロット・バーナー、熱、その他の引火の原因となるものから遠ざけてください。
- ひびや漏れがないか定期的に燃料ライン、キャップ、およびフィッティングを確認します。必要に応じて交換します。
- 承認された燃料容器のみを使用します。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動をお待ちください。

エンジンの始動時

- スパークプラグ、マフラー、燃料キャップ、エア・クリーナー（装備されている場合）が適所にあり固定されているのを確認して下さい。
- スパーク・プラグを外した状態でエンジンをクランクで回さないでください。
- 燃料がこぼれた場合、エンジンを始動しようとせずに、除雪機をこぼれた場所から移動して、燃料の気化ガスが消散するまで、点火源を作らないようにします。
- エンジン内にガソリンを入れすぎないようにします。本マニュアルのエンジン起動指示に従います。
- エンジンがガソリンを吸い込みすぎて点火しない場合は、（装備されていれば）チョークを開く / 作動の位置に設定し、（装備されていれば）スロットルを高速の位置にしてエンジンが始動するまでクランクを回して下さい。

機器の操作時

- 除雪機を傾けてはなりません。燃料が漏れます。
- キャブレーターを絞ってのエンジン停止は行わないで下さい。
- エアクリーナ-アセンブリー（装備されている場合）やエアフィルター（装備されている場合）を外した状態でエンジンを起動しないで下さい。

オイルを交換する時

- 上部のオイル充填チューブからオイルを排出する際には、燃料タンクは空でないと燃料が漏れて火災や爆発を起こす可能性があります。

機器の輸送時

- 燃料タンクが空の状態または燃料シャットオフバルブがオフの状態で輸送します。

ガソリンまたはタンクに燃料が入ったままの器具を保管する場合

- 燃料の気化ガスに引火する可能性があるので、炉、ストーブ、給湯器、その他のパイロット・ランプその他の点火源付きの器具から離して保管して下さい。

Not for Reproduction

警告

除雪機の安全な使用にはエンジンの適切な手入れおよび維持管理が必要です。

- すべてのクラッチおよびシフトをニュートラルにしてからエンジンを起動します。
- 除雪を始める前にエンジンが周囲温度に馴染むまで待ちます。
- 電気ドライブモーターまたは電気スタートモーターを装備した除雪機には接地された3ワイヤプラグを使用します。

警告

エンジンを起動すると火花が発生します。

火花は近くのガスに引火する場合があります。

爆発や火事を引き起こす可能性があります。

- 周辺で天然ガスまたはLPガスが漏れている場合、エンジンを起動してはなりません。
- 加圧スタート溶液はその気化ガスが可燃性なので使用してはなりません。

警告

動いているエンジンは発熱します。エンジン部品、特にマフラーは非常に熱くなります。

これらの安全指示に従わない場合、接触時に深刻な熱傷に繋がります。

- 熱いエンジンまたはマフラーに触れてはなりません。マフラー、エンジン・シリンダ、フィンは冷ましてから触れて下さい。
- マフラーエリアおよびシリンダーエリアから異物を取り除きます。
- 樹木、草火、低木がある場所で使用する前に花防止装置を取り付けて正常に起動する状態に保ちます。
- **アメリカモデル：**カリフォルニア州公共資源規範セクション4442では、排気システムにスパーク・アレスターを搭載し、セクション4442に定める通りに有効な作業順序で整備されていない限り、森林、低木、または草で覆われた土地でエンジンを使用または運転することは違反となります。その他の州または連邦政府の管轄でも同様の法律が存在します。本エンジンに搭載の排気システム向けに設計されたスパーク・アレスターの入手については、OEM業者、小売店、またはディーラーにお問い合わせください。

警告

安全な運転および性能を維持するために、この除雪機は適切に維持管理されなければなりません。本マニュアルに記載された安全指示に従わない場合、死亡または深刻な怪我に繋がります。

- 除雪機の維持管理または修理を行う場合、エンジンを止め、スパークプラグワイヤを外し、そしてワイヤをプラグらか遠ざけて、誤ってエンジンが起動することを防止します。
- シーアボルトおよび他のハードウェアが適切に締め付けられているかどうかを頻繁に確認します。
- ナットおよびボルトを十分に締め付けて除雪機を良い状態に保ちます。
- 安全装置に手を加えないでください。定期的に適切な運転をチェックし、適切に機能しない場合は必要な修理を行います。
- 部品は、摩耗、損傷および劣化します。頻繁に部品の確認を行い、必要に応じて推奨パーツと置換します。
- コントロールの動作を頻繁にチェックします。必要に応じて、調整および整備します。
- 修理時は工場認定の交換部品または同等部品のみを使用します。
- すべての設定および調整について、必ず、工場仕様に従います。
- 車輪おもり、釣合おもり、運転台等、工場認可または同等の付属品およびアクセサリーのみを使用します。
- エンジンを起動した状態で調節を行ってはなりません（工場により具体的に推奨されている場合を除く）。

Not for Reproduction

警告

この除雪機の安全性はオペレータ次第です。使い方を誤ったり、適切に保守をしないと危険です。使用者は、自身と周囲の人々の安全を確保する責任があります。

- すべての人物、特に小さな子供やペットが使用エリアに近づかないようにします。
- 除雪機を使用するエリアを十分に調べ、ドアマット、そり、板、ワイヤ、および他の異物を取り除きます。
- 除雪機を使用する時は十分な冬着を着用します。
- 滑りやすい場所での足場を良くする履き物を履きます。
- 除雪機を後ろ向きで使用する場合は特に滑ったり倒れたりしないように注意します。
- 視界が悪く明るくない状態で除雪機を使用してはなりません。足元に常に気をつけ、ハンドルをしっかりと握ります。
- 傾斜地で雪を取り除いてはなりません。傾斜地での方向転換には十分に注意を払います。急勾配の坂の雪を取り除こうと試みないでください。
- 除雪を急速に行うことで機器の容量に過重な負担を掛けてはなりません。
- 滑りやすい場所で除雪機を速い速度で使用してはなりません。除雪機を後ろ向きで使用する場合は後方を確認して注意を払います。
- 屋根、ガレージ、ベランダ、他の建物の上等、地表面より上で除雪機を使用してはなりません。
- 運転者は、自分たちおよび他人を損傷から守るのに十分安全に除雪機を運転するための彼らの能力を評価しなければなりません。
- 除雪機は雪の排除のみを目的としています。他の目的で使用してはなりません。
- 人を乗せてはなりません。
- 異物にぶつかった場合、エンジンを止め、電気モーターのコードを外し、除雪機に損傷がないかどうかを十分に調べ、そして除雪機を再起動して使用を再開する前に村荘の修理を行います。
- 除雪機が異常に振動する場合はエンジンを止めます。振動は一般的に問題の前兆です。修理は必要に応じて認定ディーラーに問い合わせてください。
- 電気スタートモーターを搭載しているモデルの場合、エンジン起動後に電源コードを取り外します。

警告

損傷したまたは接地されていない電源コードは電気ショックを与える場合があります。

電気ショックは深刻な火傷や死亡に繋がる場合があります。

電気スターター使用時

- 電源コードは常に適切に接地されていなければなりません。
- 適切に電源に接続した3コンダクター電源コードのみを使用します。
- 電源コードが損傷している場合、危険を避けるために資格を有する人物により置換されなければなりません。

警告

スタートコードの素早い引き戻し（キックバック）を行うと、手放すよりも速く手や腕をエンジンの方向に引き寄せます。

骨折、打撲、またはねんざを引き起こす可能性があります。

エンジン起動時

- 抵抗を感じるまでスタートコードをゆっくりと引っ張り、素早く引き戻してキックバックを避けます。

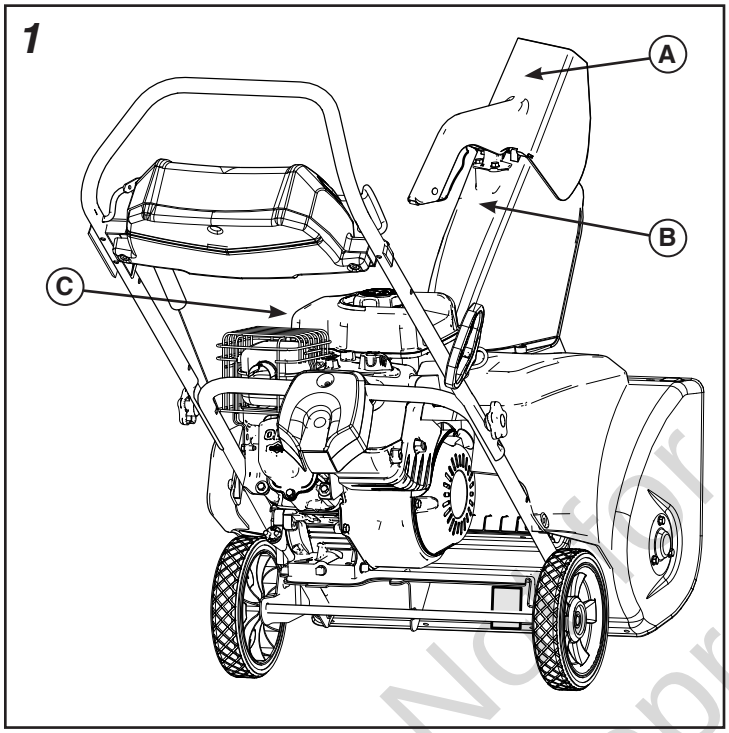
Not for Reproduction

安全ステッカー

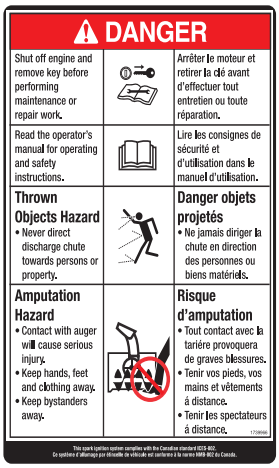
本ユニットを起動する前に安全ステッカーをよく読みます。図1以下の表を比較してください。注意および警告は使用者の安全に関わるものです。人身事故や装置の損傷を避けるため、すべての安全ステッカーを理解し、それらに従ってください。

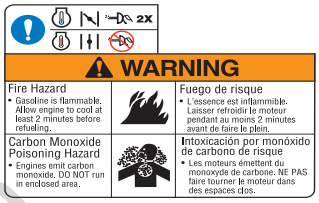
警告

安全ステッカーが摩耗または破損したために読めない場合、交換ステッカーを最寄りのディーラーに注文して下さい。



A	吐き出し口危険ステッカー (P/N 173)	

B	羽根危険ステッカー (P/N 1739966)	

C	エンジン警告ステッカー (P/N 279655)	

安全システム試験

危険

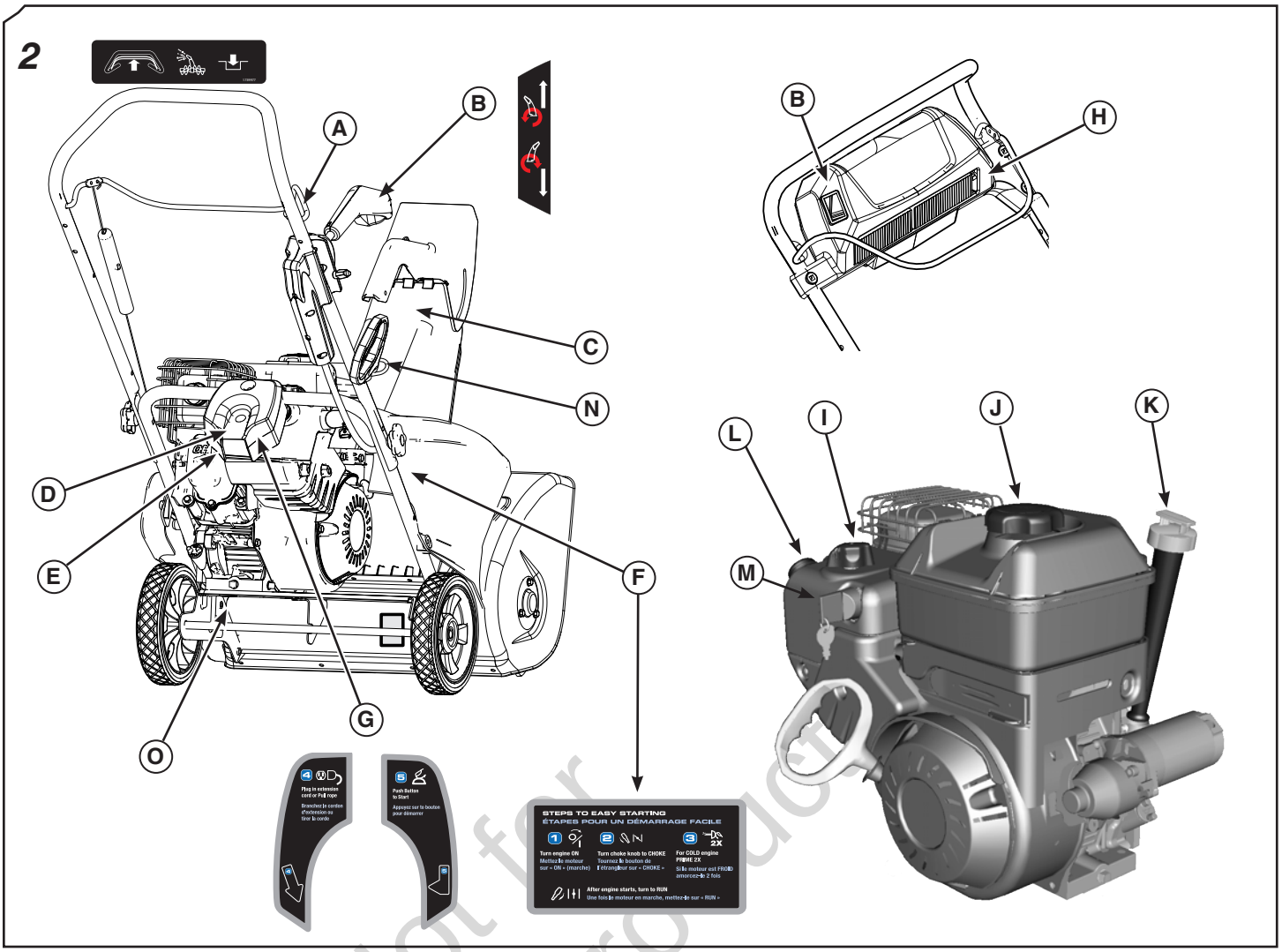
切断の危険

この除雪機は、手足を切断し、物を飛ばす場合があります。吐き出し口内の回転羽根に触れることは、除雪機に関連する怪我も最も一般的な原因です。

- 本マニュアルに記載されたすべての安全指示を読み従うようにします。そうしない場合は死亡または人身事故に繋がります。
- 手を使って吐き出し口から雪を取り除いたり詰まりを取ったりしてはなりません。指が挟まれて外傷性切断または重度の裂傷に繋がる場合があります。
- 吐き出しから雪を取り除いたり詰まりを取ったりする場合は常に清掃ツールを使用します。

1. 除雪機をスタートして羽根コントロール (**A**)を数秒間起動します。
2. 羽根コントロールを離します。
3. 羽根コントロールを離した後、羽根は5秒以内に停止しなければなりません。停止しない場合：
   a. コントロールケーブルを調整します。
   b. 5秒経っても羽根が停止しない場合、認定ディーラーに連絡してください。

Not for Reproduction



除雪機およびエンジンコントロール

A — 羽根コントロール

B — 吐き出し口コントロール - スイッチマウント (装備されている場合)

吐き出し口コントロール - ハンドルマウント (装備されている場合)

C — 偏向板コントロール - トリガー

D — スターターボタン

E — スターター容器

F — 開始指示ステッカー (装備されている場合)

G — 開始指示ステッカー (装備されている場合)

H — 前灯 (装備されている場合)

I — チョークコントロール

J — 燃料タンクおよびキャップ

K — オイル注入口/計深棒

L — プライマーボタン

M — オン/オフまたはプッシュ/プルキー

N — スターターコードハンドル

O — オイルドレーンプラグ

コントロールシンボルおよびその意味

	オン/オフスイッチ
	チョーク閉、チョーク開
2X	プライマーを2回押す
	プラグイン延長コード
	ボタンを押してスタート
	羽根コントロールを起動
	吐き出し口コントロールの回転

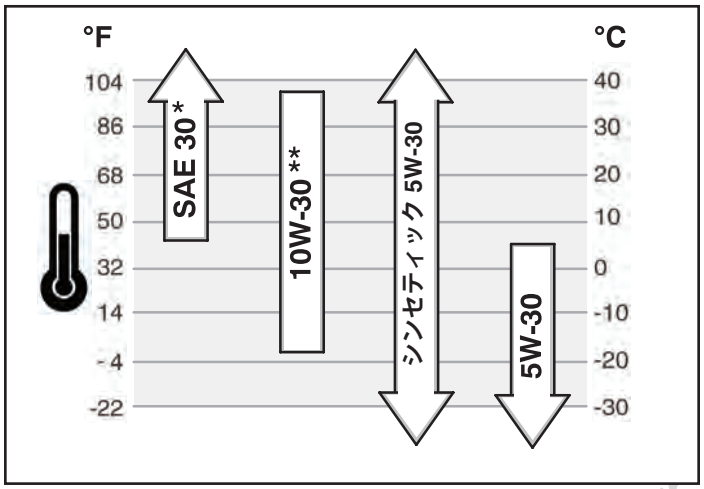
Not for Reproduction

使用

推奨オイル

*注目:*エンジンはオイルを入れずに工場から出荷されています。エンジンを起動する前に、本マニュアルに従って必ずオイルを注入してください。オイルを入れずにエンジンを起動すると、修理できない損傷を引き起こします。これは保証の対象外です。

サービスSG、SH、SJ、SLまたはそれ以上に分類された高品質清浄油を使用します。合成5W30モーターオイルはすべての温度で条件を満たします。オイルとガソリンを混ぜてはなりません。推奨オイルについては以下の表を参照してください。

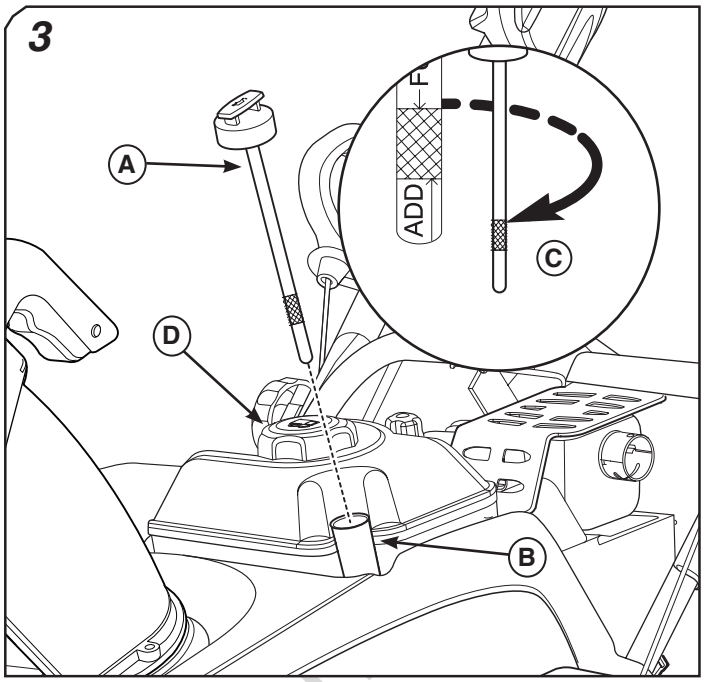


* 4°C (40°F)未満でSAE 30を使用すると、起動しにくくなります。

** 27°C (80°F) 以上で10W30を使用すると、オイル消費量が増加することがあります。オイル量を頻繁に確認してください。

オイルの追加／オイルレベルの確認

1. 除雪機が水平であることを確認します。
2. オイル計深棒付近のゴミを清掃します。
3. オイル容量*仕様*。
4. 検油棒 (**A**、図3) を外して、きれいな布で拭いて下さい。
5. エンジンオイル注入口にオイルをゆっくり追加します (**B**)。
6. 1分間待ち、検油棒を挿入して時計方向に回して締め付けます。
7. 検油棒を外してオイルレベルを点検します。
8. 必要であれば、検油棒の満タン印(**C**)までオイルを追加します (FULL)。過剰充填しないでください。
9. 検油棒を挿入して完全に締め付けます。



推奨燃料

燃料は次の条件を満たさなければなりません。

- 汚染されていない、新鮮な無鉛ガソリン。
- 87 オクタン以上/87 AKI (91 RON)。高高度での使用は、以下を参照してください。
- 10%までのエタノール含有のガソリン(ガソホール)は許容されます。

*注目:*E15やE85などの承認されていないガソリンを使用しないでください。ガソリンにオイルを混入したり、代替燃料で使用するためにエンジンを改造したりしないでください。承認されていない燃料を使用するとエンジンの部品を損傷させる原因になります。この損傷は保証の対象になりません。

燃料供給装置がガム質を生成するのを防ぐために、燃料に燃料安定剤を混ぜてください。*保管*の項を参照してください。すべての燃料は同じではありません。始動または性能の問題が生じた場合、燃料供給業者またはブランドを変更してください。このエンジンは、ガソリンで動作することが保証されています。このエンジンの排出制御システムは、EM(エンジンモディフィケーション)です。

高度

1,524メートル (5,000フィート)を超える高度では、最低85オクタン／85 AKI (89 RON)ガソリンが許容されます。キャブレーター・エンジンの場合、排出量を引き続き規格に適合させるには高度の調整が必要になります。この調整なしに使用すると、性能が低下し、燃料の消費が増え、排出量が増えます。高度調整の情報を得るには、Briggs & Stratton認定サービスディーラーに連絡してください。

762メートル (2,500フィート)以下の高度で、高高度の調整をしてエンジンを起動することは推奨されません。電子式燃料噴射 (EFI) エンジンの場合、高度調整は必要ありません。

Not for Reproduction

燃料の追加

警告

燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。燃料の取り扱いには十分注意します。

これらの安全指示に従わない場合、火事や爆発を引き起こす可能性があり、深刻な火傷や死亡に繋がります。

燃料を追加する際

- エンジンを切り、燃料キャップを外す前に少なくとも2分間エンジンを冷やして下さい。
- 燃料タンクは屋外、または換気の良い場所で充填してください。
- 燃料タンクに過剰充填しないでください。ガソリンが膨張しても良いように、燃料タンクの細くなっている部分の一番下より上に充填しないでください。
- 燃料はスパーク、直火、パイロット・バーナー、熱、その他の引火の原因となるものから遠ざけてください。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動を待ちます。

1. 燃料キャップ付近の埃やごみを清掃します。燃料キャップを取り外します(**D**、図3)。
2. タンクに燃料を注入します。燃料が膨張しても良いように、燃料タンクの細くなっている部分の一番下より上に充填しないでください。
3. 燃料キャップを取り付けます。

エンジンの始動

警告

燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。燃料の取り扱いには十分注意します。

これらの安全指示に従わない場合、火事や爆発を引き起こす可能性があり、深刻な火傷や死亡に繋がります。

エンジンの始動時

- スパークプラグ、マフラー、燃料キャップ、エア・クリーナー(装備されている場合)が適所にあり固定されているのを確認して下さい。
- スパーク・プラグを外した状態でエンジンをクランクで回さないでください。
- 燃料がこぼれた場合、エンジンを始動しようとせずに、除雪機をこぼれた場所から移動して、燃料の気化ガスが消散するまで、点火源を作らないようにします。
- エンジン内にガソリンを入れすぎないようにします。本マニュアルのエンジン起動指示に従います。
- エンジンがガソリンを吸い込みすぎて点火しない場合は、(装備されていれば)チョークを開く / 作動の位置に設定し、(装備されていれば)スロットルを高速の位置にしてエンジンが始動するまでクランクを回して下さい。

警告

損傷したまたは接地されていない電源コードは電気ショックを与える場合があります。

電気ショックは深刻な火傷や死亡に繋がる場合があります。

電気スターター使用時

- 電源コードは常に適切に接地されていなければなりません。
- 適切に電源に接続した3コンダクター電源コードのみを使用します。
- 延長コードが損傷している場合、危険を避けるために資格を有する人物により置換されなければなりません。

*メモ:*電気スターターは3コンダクター電源コードおよび標準家庭用電流のみで使用するようデザインされています。適切に接地された電源が利用できない場合、電気スターターを使用してはなりません。適切な接地システムの取り付けは認可電気技師に連絡してください。

警告

エンジンは一酸化炭素という無臭、無色の有毒ガスを排気します 。一酸化炭素の吸引は、嘔吐、気絶、或いは死をもたらします。

- エンジンの始動と運転は屋外で行って下さい。
- 扉および窓が開いていてもエンジンの起動を閉鎖された場所で行わないで下さい。

警告

スタートコードの素早い引き戻し(キックバック)を行うと、手放すよりも速く手や腕をエンジンの方向に引き寄せます。

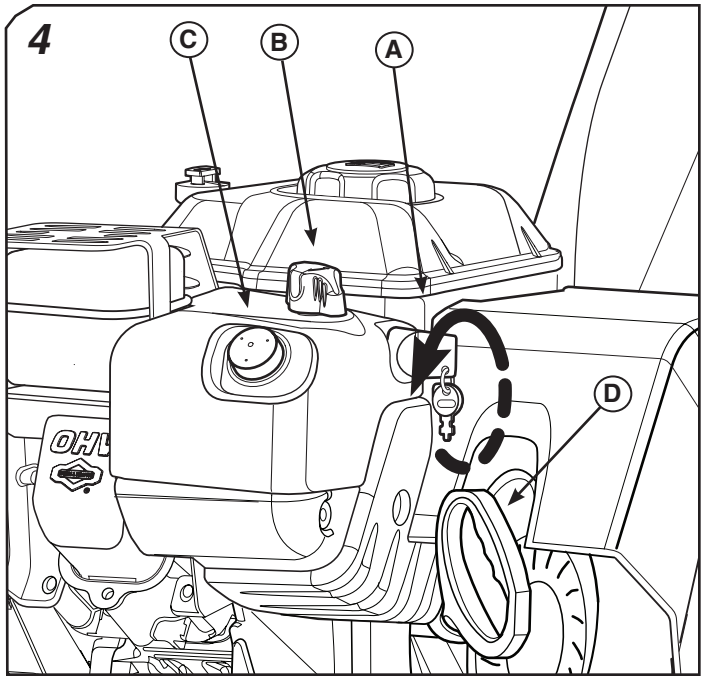
骨折、打撲、またはねんざを引き起こす可能性があります。

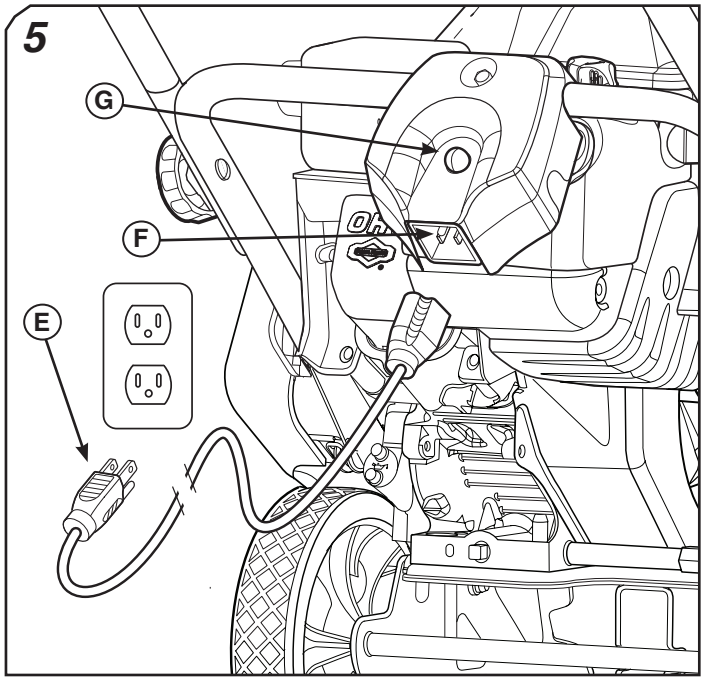
エンジン起動時

- 抵抗を感じるまでスタートコードをゆっくりと引っ張り、素早く引き戻してキックバックを避けます。

1. エンジンオイルのレベルを点検します。***オイルの追加／オイルレベルの確認***を参照してください。
2. 羽根コントロールが解除されていることを確認します。
3. オン/オフキー(**A**、図4)を挿入し、オン位置に回すまたはプッシュ/プルキー(装備している場合)を挿入します。

Not for Reproduction





4. チョークコントロール（**B**）を回して「閉」位置にします。

   *メモ:*チョークコントロールを閉じることで暖まったエンジンを起動してはなりません。

5. プライマーボタン（**C**）を2回押します。

   *メモ:*プライマーボタンを押すことで暖まったエンジンを起動してはなりません。

6. **巻き戻しスタート:**スターターコード（**D**）をしっかりと握ります。抵抗を感じるまでスタートコードをゆっくりと引っ張り、素早く引き戻します。

7. **電動スタート:**まず電源コード（付属していません）（**E**、図5）をスターター容器（**F**）に接続し、その後で壁のコンセントに差し込みます。追加の電源コードが必要な場合、3コンダクターコードであることを確認します。

8. **電動スタート:**スターターボタン（**G**）を押します。エンジン起動後、まず電源コードをコンセントから抜き、その後スターター容器から取り外します。

   注目:スターターの寿命を延ばすために、短い開始サイクルを使用します（最大5秒）。次の開始サイクルまで1分間待ちます。

9. エンジンが暖まれば、チョークコントロール（**B**、図2）を「開」位置に移動します。

   *メモ:*3回試みてもエンジンが起動しない場合、*トラブルシューティング*を参照してください。

エンジン停止

警告

ガソリンおよび気化ガスには高い可燃性および爆発性があります。

火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

- キャブレーターを絞ってのエンジン停止は行わないで下さい。

1. オン/オフキー（**A**、図4）を挿入し、オン位置に回すまたはプッシュ/プルキー（装備している場合）を挿入します。
2. キーは子供の手の届かない安全な場所に保管します。エンジンはキーがないと起動しません。

Not for Reproduction

除雪機の使用

危険

この除雪機は、手足を切断し、物を飛ばす場合があります。吐き出し口内の回転羽根に触れることは、除雪機に関連する怪我も最も一般的な原因です。

- 本マニュアルに記載されたすべての安全指示を読み従うようにします。そうしない場合は死亡または人身事故に繋がります。
- 手を使って吐き出し口から雪を取り除いたり詰まりを取ったりしてはなりません。指が挟まれて外傷性切断または重度の裂傷に繋がる場合があります。
- 吐き出しから雪を取り除いたり詰まりを取ったりする場合は常に清掃ツールを使用します。

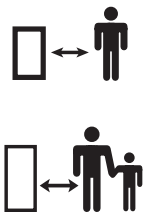
警告

氷、砂利、または他の物体が羽根により持ち上げられて吐き出し口から飛び出す場合があります。

吐き出し口から飛び出した物体は、死亡事故、深刻な怪我、または物損事故に繋がる可能性があります。

- 常に雪を飛ばす方向に気をつけます。
- 砂利または石の表面より高くなるようにコレクターの高さを調節します。

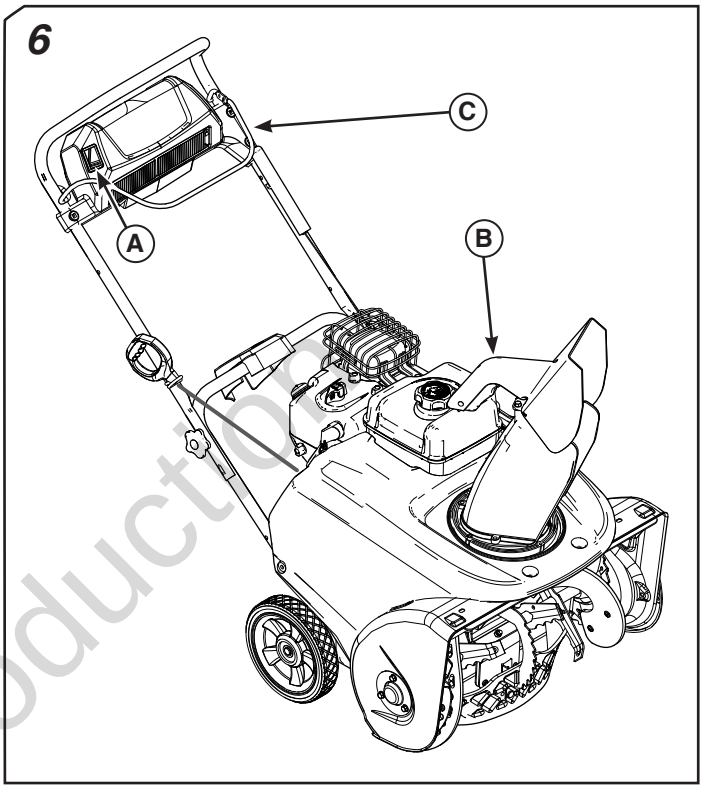
警告



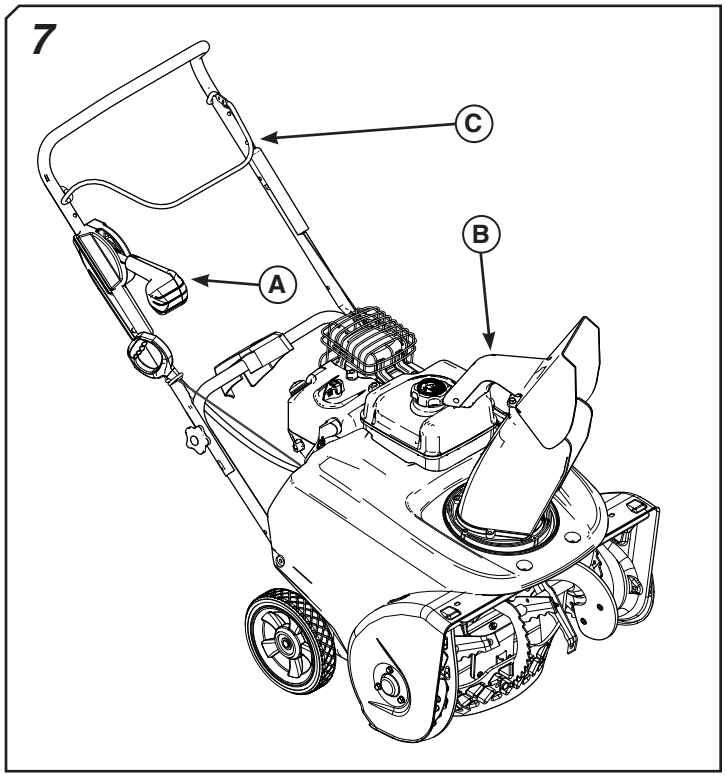
使用者が子供の存在を見落とした場合、深刻な事故が起こる場合があります。子供は、装置や機器の動作にしばしば引き付けられてしまいます。子供を最後に見た場所に彼らがそのまま居ると思い込まないでください。

- 使用中に子供が近づかないようにします。子供は機会に興味を持つことがよくあります。周りのすべての人物に注意します。
- 子供が刈り取り場所に入った場合は、警戒して、装置をオフにします。

1. エンジンを起動して数分間暖機運転します。*エンジンの起動*を参照してください。
2. 吐き出し口の方向および偏向板の角度を適切な位置に調節します。*吐き出し口および偏向板*を参照してください。
3. ハンドル方向に羽根コントロール（**C**、, 図6、図7）を引いて羽根を起動します。
4. 除雪が完了すれば羽根コントロールを解除します。
5. エンジンを1分間起動したままにした後、停止します。*エンジン停止*を参照してください。



Not for Reproduction



吐き出し口および偏向板

吐き出し口回転 - スイッチマウント (装備されている場合)

1. スイッチを押して吐き出し口を回転させます(**A**、図6)。
2. スイッチを解除して望む位置に吐き出し口をロックします。

吐き出し口回転 - ハンドルマウント (装備されている場合)

1. 吐き出し口コントロールハンドルのボタンを握ります(**A**、図7)。
2. ハンドルを前方向に押すまたは後ろ方向に引いて吐き出し口を回します。
3. ボタンを解除して望む位置に吐き出し口をロックします。

   注目:コントロールの操作には過度の力を使用してはなりません。

偏向板の調節

1. 偏向板コントロールハンドルのボタンを握ります(**B**、図6、図7)。
2. コントロールハンドルを上または下に動かして除雪の高さおよび距離を調節します。
3. ボタンを解除して望む位置に偏向板をロックします。

詰まった吐き出し口の掃除

⚠ 危険

吐き出し口には雪を飛ばすための回転羽根があります。手を使って吐き出し口から雪を取り除いたり詰まりを取ったりしてはなりません。指が回転羽根に挟まれる可能性があります。常に清掃ツールを使用します。

これらの安全指示に従わない場合、外傷性切断または重度の裂傷に繋がります。

1. エンジンを停止します!
2. 羽根の回転が停止していることを確認します。
3. 清掃ツールを使用して吐き出し口から雪を取り除きます。手を使って吐き出し口から雪を取り除いてはなりません。

Not for Reproduction

維持管理

保守スケジュール

最初の5時間
オイル交換
毎回の使用前
エンジンオイルレベルの点検
除雪機の安全テストの実施
スクレーパーバーおよびゴム羽根の摩耗を確認
毎回の使用後
コントロール、車輪、吐き出し口、および羽根の凍結を避けるために、堆積した雪を取り除きます
25時間ごと、或いは年に一回
除雪機のハードウェアに緩みがないかの確認
羽根コントロールケーブルの調節
50時間ごと、或いは年に一回
エンジンオイルの交換
マフラーおよびマフラーガードの状態確認
年に一回
スパークプラグの交換
バルブの間隔を確認 *

* エンジンの性能に問題が見られない場合は必要ありません。認定サービスディーラーにこのアイテムを求めます。

排出制御サービス

排出制御装置およびシステムの保守、交換、または修理は、ノンロード・エンジンの修理工場または業者によって実施することができます。ただし、「無料の」排出制御サービスを得るためには、工場認定ディーラーで作業を実施しなければなりません。

オイル交換

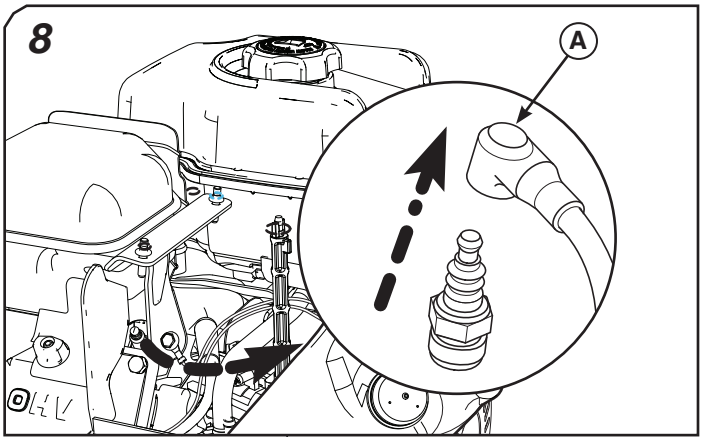
使用済みオイルは有害廃棄物であり、適切に廃棄する必要があります。家庭用ごみと一緒に廃棄しないでください。安全な廃棄場所/リサイクル施設については現地当局、サービスセンター、またはディーラーにお問い合わせください。

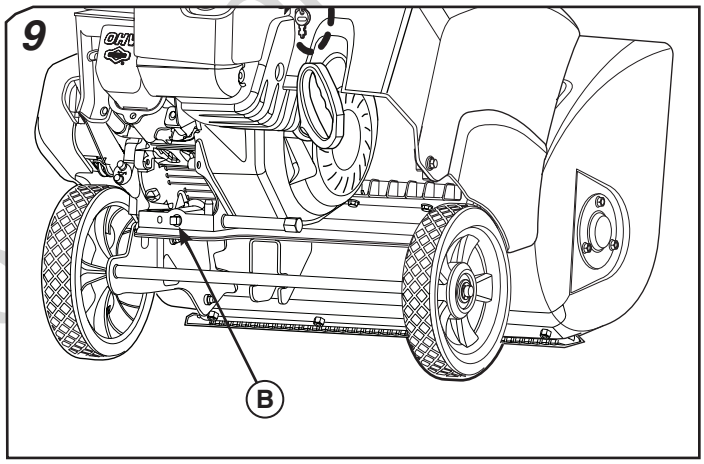
オイルを取り除く

1. エンジンが停止しているがまた暖かい状態でキーを抜き、その後スパークプラグワイヤ(**A**、図8)を取り外してスパークプラグから遠ざけます。

   *メモ:*スパークプラグワイヤにアクセスするには、エンジンから雪フードを取り外さなければなりません。***スパークプラグへのアクセス***を参照してください。

2. オイルドレーンプラグ(**B**、図9)を取り外し、除雪機を少し傾けて適切な容器内にオイルを抜きます。
3. オイルを流し出した後には、オイルドレーンプラグを差し込み、締めて下さい。





オイルの注入

1. 除雪機が水平であることを確認します。
2. オイル計深棒付近のゴミを清掃します。
3. オイル容量については***仕様***参照してください。
4. 検油棒 (**A**、図3) を外して、きれいな布で拭いて下さい。
5. エンジンオイル注入口にオイルをゆっくり追加します (**B**)。
6. 1分間待ち、検油棒を挿入して時計方向に回して締め付けます。
7. 検油棒を外してオイルレベルを点検します。
8. 必要であれば、検油棒の満タン印(**C**)までオイルを追加します。過剰充填しないでください。
9. 検油棒を挿入して完全に締め付けます。

Not for Reproduction

コントロールケーブルの調節

⚠ 警告

羽根コントロールを離した後、羽根は5秒以内に停止しなければなりません。停止しない場合、コントロールケーブルを調節します。以下の***調節***を参照するか、または認定サービスディーラーに連絡してコントロールケーブルを調節します。

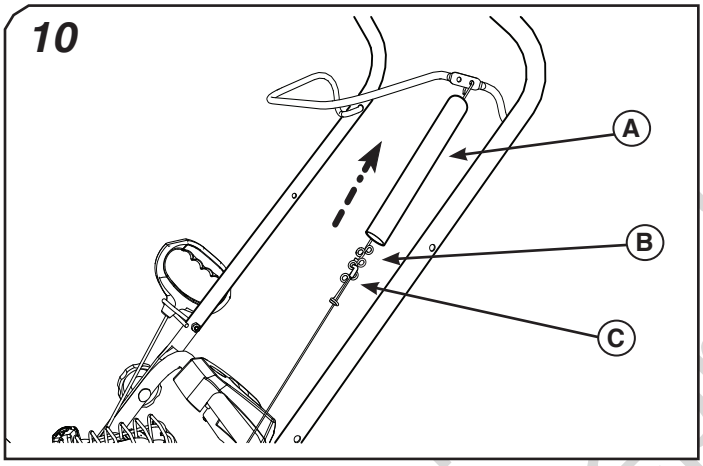
検査

羽根は羽根コントロール起動中のみ回転するべきであり、羽根コントロール解除から5秒以内に停止しなければなりません。説明された通りに羽根が回転しないまたは停止しない場合、コントロールケーブルを調節するか、または認定サービスディーラーに連絡してコントロールケーブルを調節します。

ドライブベルトが破損している場合、認定サービスディーラーに連絡してベルトの交換およびコントロールケーブルの調節を行います。

調節

1. エンジンを切り、キーを抜きます。***エンジン停止***を参照してください。
2. ケーブルカバー（**A**、図10）を持ち上げて調節ループ（**B**）およびケーブル先端金具（**C**）を出します。



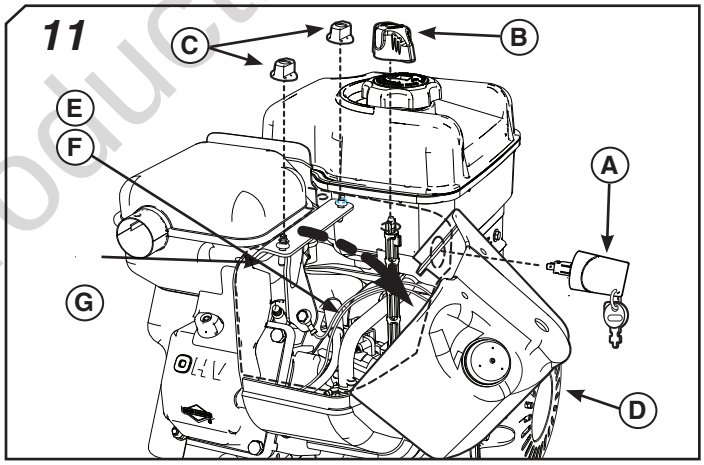
3. 調節ループから先端金具を取り外して次の手順で再度取り付けます：
   - 羽根コントロールを起動していない時に羽根が回転する場合、先端金具を次のループまで下げた位置に取り付けてコントロールケーブルを長くします（ベルト張力を減らす）。
   - 羽根コントロールを起動しても羽根が回転しない場合、先端金具を次のループまで上げた位置に取り付けてコントロールケーブルを長くします（ベルト張力を増やす）。

   *メモ：*羽根コントロールを起動していない時にはケーブルに幾分かの緩みがなければなりません。
4. ケーブルカバーを下げます。
5. 上記の検査手順を繰り返します。説明された通りに羽根が回転しないまたは停止しない場合、認定サービスディーラーに連絡して除雪機の検査を行います。

スパークプラグへのアクセス

スパークプラグにアクセスするには、次の手順で雪フードを取り外さなければなりません：

1. オン/オフキー（**A**、図11）をオフ位置に回すまたはプッシュ/プルキー（装備している場合）を抜きます。
2. チョークコントロールの部（**B**）を握り、上方向に引いて取り外します。
3. 雪フードの取り付けネジまたはノブ（**C**）を取り外します。
4. 雪フード（**D**）を本体から持ち上げ、前方向に傾けます。プライマーホース（**E**）またはキースイッチワイヤー（**F**）を取り外してはなりません。
5. スパークプラグワイヤを取り外し、スパークプラグ（**G**）をを取り外して清掃または置換します。***仕様***を参照してください。
6. スパークプラグを取り付けた後、スパークプラグワイヤを接続します。
7. プライマーホースおよびキースイッチワイヤーが適切に接続されていることを確認し、雪フードを本体にはめて取り付けネジまたはノブでしっかりと固定します。
8. チョークコントロールノブのスロットをチョークシャフトのタブに合わせ、下方向に押して取り付けます。ノブが適切に取り付けられていない場合、チョークコントロールは作動しません。

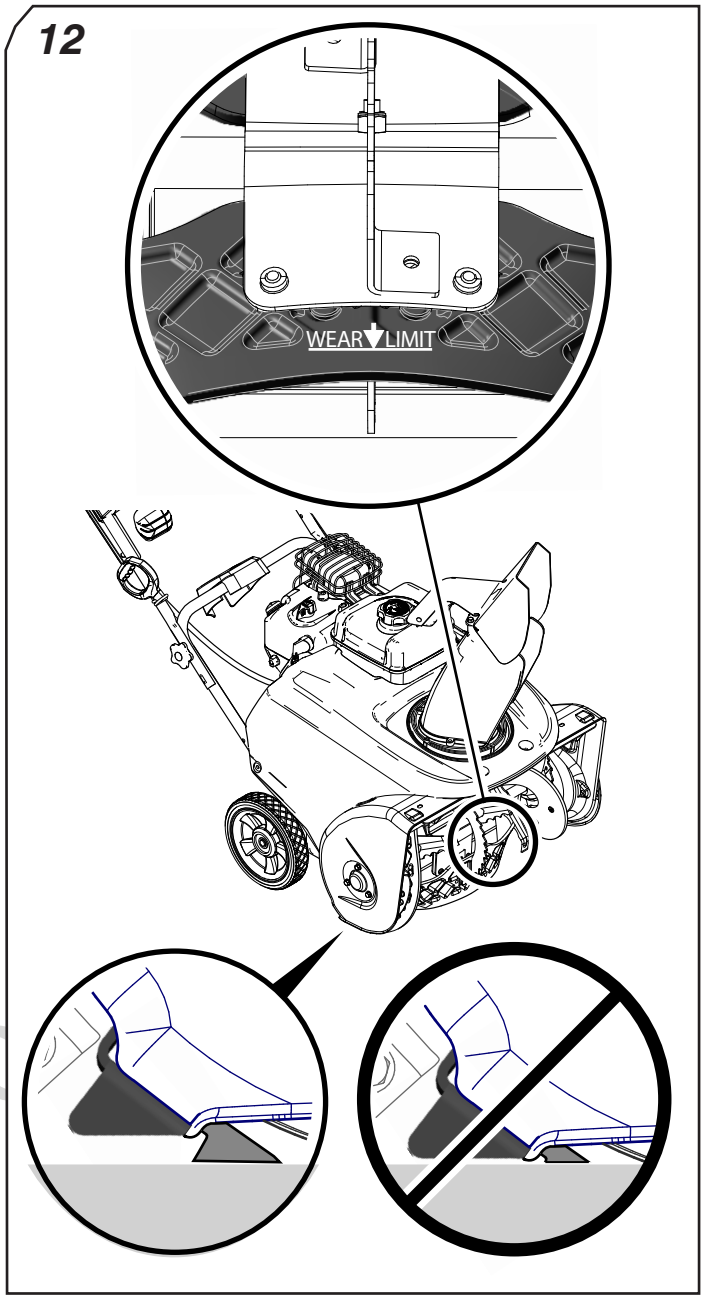


Reproduction

羽根およびスクレーパーバーの維持管理

毎回の使用前、ゴム羽根の摩耗限度およびスクレーパーバーの維持管理サポートと地面の隙間を確認します（A、図12）。

- ゴム羽根が摩耗限度に達した場合、2つのゴムフライトを置換する必要があります。認定ディーラーに連絡します。
- スクレーパーバーサポートが地面と接触する場合、スクレーパーバーを置換する必要があります。認定ディーラーに連絡します。



Not for Repro

保管

警告

火事および爆発の危険

ガソリンは引火性が非常に高く、その気化ガスには爆発性があります。ガスは遠くにある発火限まで到達する場合があり、爆発および／または火事に繋がる可能性があります。

ガソリンの取り扱いには注意します。加熱炉、温水器、衣服乾燥機等、直火、スパーク、パイロットライトにガスが到達する可能性のある屋内または換気が悪い場所にタンクに燃料が入ったユニットを保管してはなりません。

装置

- ユニットを十分に清掃します。
- ヘックスシャフトに潤滑油を差します（*維持管理*セクションを参照）。
- すべてのナット、ボルトおよびスクリューが十分に締め付けられていることを確認します。目に見えるすべての可動部の損傷、破損、および摩耗を確認します。必要に応じて交換します。
- 除雪機の刃および羽根の地金部分にさび止め塗料を塗布します。
- 可能であれば、ユニットを屋内に保管してカバーを掛け、埃やごみから保護します。
- 機器を屋外に保管しなければならない場合、厚い防水シートでカバーします。

燃料システム

30日以上保管すると燃料が劣化する恐れがあります。劣化した燃料は、燃料システムや要なキャブレータ部品に酸やガムが生成され堆積する原因となります。燃料の鮮度を保つため、**Briggs & Stratton®製 Advanced Formula Fuel Treatment & Stabilizer** の使用をお勧めします。この製品はBriggs & Stratton純正サービスパーツ販売店で入手可能です。

指示に従って燃料劣化防止剤が追加された場合、エンジンからガソリンを抜くことは不要です。保管する前にエンジンを2分間起動し、燃料システム全体に劣化防止剤を循環させます。エンジン内のガソリンに燃料劣化防止剤を添加しない場合、既定の容器にドレインする必要があります。燃料が切れて止まるまでエンジンを回転します。鮮度を保つため、保存容器にも燃料劣化防止剤を使用することを推奨します。

エンジン・オイル

エンジンが温まっているうちにエンジンオイルの交換をして下さい。***オイル交換***を参照してください。

装置が保管されていた後で、始動する前に行うこと：

- すべての液体レベルをチェックします。すべての保守項目をチェックします。
- 本マニュアルに記載されているすべての推奨チェックおよび手順を行います。
- 使用する前に、数分間エンジンを温めます。

Not for Reproduction

問題	原因	解決方法
羽根コントロールを解除しても羽根が停止しない	コントロールケーブルには調節が必要	コントロールケーブルを調整します。ケーブルを調節しても問題が解決しない場合、認定ディーラーに連絡してください。
羽根コントロールを起動しても羽根が回転しない	コントロールケーブルには調節が必要	コントロールケーブルを調整します。ケーブルを調節しても問題が解決しない場合、認定ディーラーに連絡してください。
吐き出し口の回転または偏向板の調節ができない	留め具を締め付けすぎているか、またはハンドルマウントコントロールが破損している	認定サービスディーラーに連絡します。
	吐き出し口または偏向板が凍結している	雪または氷を吐き出し口および偏向板から取り除くか、または雪または氷が溶けるまで除雪機を暖かい場所に置きます。
エンジンが始動しない	キーがオフ位置にあるまたは差し込まれていない	キーをオン位置まで回すか、またはプッシュ／プルキーを挿入します。
	プライマーが押されていない	スターターロープを引く前にプライマーボタンを2度押します。
	燃料が切れている	新しい燃料を燃料タンクに入れます。
	チョークが開いている - エンジンが冷たい	スターターロープを引く前にチョークを「閉」位置に回します。
	エンジンに浸水している	チョークを「開」位置に回し、エンジンが起動するまでスターターロープを数回引きます。
	スパークしない	スパークプラグワイヤを接続するか、またはスパークプラグを置換します。
	燃料または古い燃料内に水が入っている	燃料タンクを空にし、新しい燃料を注入します。
	コードが差し込まれていないまたは電流遮断機が切れている（電気スタートモード）	コードを差し込むか、または不具合のあるコードを置換します。または電源遮断機をリセットします。
エンジンの始動が困難または動きが悪い	オイルが不適切	粘度の低いオイルに交換します（5W-30等）。
	スパークプラグが汚れている、摩耗している、または隙間が不適切	スパークプラグを清潔にして隙間を調節します。またはスパークプラグを置換します。認定サービスディーラーに連絡します。
	チョークコントロールの設定が不適切	エンジンが暖まると同時にゆっくりとチョークコントロールを開きます。
過度の振動	部品が緩んでいるまたは破損している	除雪機の使用を速やかに中止します。認定サービスディーラーに連絡します。
スクレーパーバーは堅い地面を清掃しない	スクレーパーバーが摩耗している	スクレーパーバーを置換する必要があります。認定サービスディーラーに連絡します。
除雪機は雪をはき出さない	コントロールケーブルには調節が必要です。	コントロールケーブルを調整します。***維持管理***セクションを参照するか、または認定サービスディーラーに連絡してケーブルを調節します。
	ドライブベルトが摩耗または破損している	認定ディーラーに連絡してベルトを置換します。
	吐き出し口が雪で詰まっている	エンジンを停止します！羽根の回転が停止していることを確認します。清掃ツールを使用して吐き出し口から雪を取り除きます。手を使って吐き出し口から雪を取り除いてはなりません。***使用者の安全***セクションの「警告」を参照してください。
除雪機が自走しない	ゴム羽根が摩耗または破損している	ゴム羽根を置換する必要があります。認定サービスディーラーに連絡します。

*メモ:*他の問題については認定サービスディーラーに連絡してください。

仕様

エンジンブランド	Briggs & Stratton
エンジンモデルシリーズ	Snowシリーズ
エンジンタイプ	4サイクル
スタートシステム	リコイルスタートおよび電気スタート
オイル容量	20オンス（0.59リットル）
燃料タンク容量	3.0クオート（2.8リットル）
スパークプラグのギャップ	0.030インチ（0.76ミリメートル）
スパークプラグのトルク	180ポンド／インチ（20 Nm）

本除雪機の火花点火システムは、カナダの ICES-002 規格に適合しています。

出力定格

各ガソリンエンジンモデルの出力定格は、SAE（自動車技術者協会）のコードJ1940（小型エンジン出力とトルクのレーティング手続き）に従ってラベル上に表示され、SAE J1995に従ってレーティングが行われます。トルクは、ラベルにrpmと示されているエンジンでは2600 RPMで、その他のエンジンでは3060 RPMで計測され、馬力は3600 RPMで計測します。グロス出力曲線はwww.BRIGGSandSTRATTON.COMでご覧いただけます。ネット出力は排気装置と空気清浄機を取り付けた状態で測定され、またグロス出力はこれらの部品のない状態で測定されます。実際のグロスエンジン出力はネットエンジン出力よりも高く、また特に周囲の動作条件や各エンジンの特性の違いによる影響を受けます。様々な製品にエンジンが搭載されることを考えると、特定の出力装置で使用された場合、ガソリンエンジンは定格のグロス出力を得られない場合があります。この差は、エンジン部品（空気清浄機、排気装置、充電器、冷却装置、キャブレター、ガソリンポンプなど）、使用における制限、周囲の動作環境（温度、湿度、海抜）、各エンジンの特性の違いなど様々な要因によって生じます。製造および能力上の制限により、Briggs & Strattonでは、このエンジンの代わりにより高い定格出力のエンジンを使用する場合があります。

Not for Reproduction